

## FIJ月次活動レポート（2020年11月）

いつもご支援を賜り、誠にありがとうございます。  
11月の活動をご報告させていただきます。

### （1）ファクトチェックの担い手を増やす取り組みを発表

誤情報・偽情報の蔓延を防ぎ、様々な課題に事実に基づいて対処する社会を築くためのファクトチェック活動を、多様な主体が担うことが必要である、と私たちFIJは考えています。そして日本においてはその担い手不足が大きな課題となっています。

そこでこの度、FIJの会員制度を改革し、担い手を増やす新たな取り組みを始めることといたし、11月28日にウェブサイトで発表いたしました。

「会員制度を変更し、ファクトチェックの担い手を増やす活動を強化します」  
<https://fij.info/archives/8318>

個人の賛助会員制度（一般会員／特別会員／学生会員）に代わり、担い手となる「アソシエイト」の募集と養成プログラムを、2021年より開始いたします。開始時期など詳細につきましては、後日あらためましてウェブサイト等で公開いたします。ぜひご注目のほどお願いいたします。

### （2）理事のメディア出演など

11月21日に開催されたオンラインイベント「朝日新聞 記者サロン・臨時国会をファクトチェック」にFIJ立岩陽一郎理事が出演、その映像が朝日新聞デジタルで公開されました。FIJのレーティング（ファクトチェックの判定基準）も紹介されています。

<https://digital.asahi.com/articles/ASND156G0NCVUTFK02C.html>

11月30日、公益社団法人日本アドバタイザーズ協会Web広告研究会が主催する「第8回Webグランプリ」が発表され、「Web人賞」にFIJ楊井事務局長が選ばれました。同賞は、デジタルを活用したマーケティング、コミュニケーション等の原動力となった人物の功績を表彰するものです。

[https://www.wab.ne.jp/wab\\_sites/general-browse/view/3242/2](https://www.wab.ne.jp/wab_sites/general-browse/view/3242/2)

発売は12月1日となりましたが、雑誌「ビッグイシュー」396号に楊井事務局長へのインタビュー「“言ったもの勝ち”に歯止めをかけるファクトチェック」が掲載されました。同誌は月2回刊、「ホームレスの人の仕事を作り自立を応援する」メディアとして、主に全国主要駅付近の街頭で販売されています。

第396号内容紹介 <https://www.bigissue.jp/backnumber/396/>

ビッグイシューの販売場所 <https://www.bigissue.jp/buy/>

